

令和3年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	金融システム演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	矢島 格		
	英語授業科目名	Financial Economics SeminarⅠ・Ⅱ		単 位	各 4	学期	通年
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	経済学（特に金融経済学）の基礎的知識を有していること。						
テーマ・副題	金融システム論に関する修士論文の作成。						
授業の教育目的・目標	十分な分析に裏付けされた修士論文を作成する。						
授業の理解度の到達目標	演習Ⅰでは、金融システム論に関する問題や課題を把握して、自分なりの問題意識を明確化させ、演習Ⅱでは、修士論文の作成方法を習得し、その方法に従って修士論文を作成する。						
授業キーワード	金融システム、金融制度、金融規制、金融機関、金融取引、金融市場、金融リスク						
授業の内容	演習Ⅰでは、研究テーマの確定に向けた先行研究の読解を主に行う。 演習Ⅱでは、修士論文作成の指導を行う。						
授業の方法	演習Ⅰでは、先行研究の読解とそれに基づいた議論を行う。 演習Ⅱでは、修士論文作成に向けた受講生の発表とそれに基づいた議論を行う。						
授業展開	演習Ⅰ ・第1回～第2回 修士論文作成に向けたポイントの説明 ・第3回～第6回 金融システムの最近の動向についての議論 ・第7回～第24回 参考とすべき先行研究の輪読 ・第25回～第30回 研究テーマに関する発表および議論			演習Ⅱ ・第1回～第3回 修士論文の作成方法の説明 ・第4回～第20回 修士論文の中間報告および議論 ・第21回～第27回 修士論文の完成に向けた議論 ・第28回～第30回 修士論文の完成と最終発表に向けた準備			
成績評価方法	演習Ⅰ：授業への取り組み姿勢（50%）、発表内容のレベル（50%）から評価する。 演習Ⅱ：授業への取り組み姿勢（30%）、修士論文の内容レベル（70%）から評価する。						
成績評価基準	総合点が80点以上をA、79～70点をB、69～60点をC、それ以下をDとする。 なお、欠席が1/3以上の場合は、Eとする。						
テキスト	適宜指示する。						
参考図書	適宜紹介する。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	演習Ⅰ： あらかじめ指示された課題（先行研究などの参考文献の読解、先行研究に関する発表準備、研究テーマに関する発表準備など）を事前に必ず行うこと。 演習Ⅱ： 修士論文の進捗状況を常に報告できるようにしておくこと。また、研究内容の発表を指示された場合はその準備を必ず行うこと。						
学生へのメッセージ	金融システムの問題や課題に関する問題意識を高め、質の高い修士論文の作成を目指して下さい。						
オフィスアワー	木曜3時限、金曜2時限（メールによる事前アポイントが望ましい。）						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線：5513)		メールアドレス	i-yajima@ic.jobu.ac.jp		
人数制限	特に定めない。						